

厚生労働省
令和3年度

女性医療職等の働き方支援事業
実施報告書



Medical Professions'
Universal Support and
Career Development with
Active Teamwork



広島大学病院
女性医師支援センター

厚生労働省
令和3年度

女性医療職等の働き方支援事業
実施報告書

Medical Professions'
Universal Support and
Career Development with
Active Teamwork



広島大学病院
女性医師支援センター

厚生労働省
令和3年度

女性医療職等の働き方支援事業

実施報告書

目次 CONTENTS

はじめに

令和3年度 活動報告

1 広島大学病院の現状について	06
2 実施計画	08
3 活動実績	10
1. 職場の理解にかかる取り組み	10
1-(1) 地域の医療機関、関係団体等との連携体制の構築	11
1-(2) センター運営会議	15
1-(3) 広島県女性医師支援総合会議	18
2. 相談窓口等にかかる取り組み	22
3. 勤務体制、診療体制にかかる取り組み	24
4. 保育にかかる取り組み	25
5. 復職支援にかかる取り組み	30
4 本事業からの今後の支援策	31
5 外部評価	32

はじめに

広島大学病院は平成 29 年 4 月に女性医師支援センターを設置いたしました。近年の医師国家試験合格者における女性の割合は 30% を越えています。女性の場合には結婚・妊娠・出産・育児・介護等、さまざまなライフイベントによって、勤務環境が変化していきます。女性医師が無理なく医師としてのキャリアを継続していくためには多くのサポートが必要となります。広島県唯一の医育機関として、女性医師に切れ目なく働き続けていただける環境を整備することは、医師不足が懸念されている広島県にとって、極めて重要な課題です。

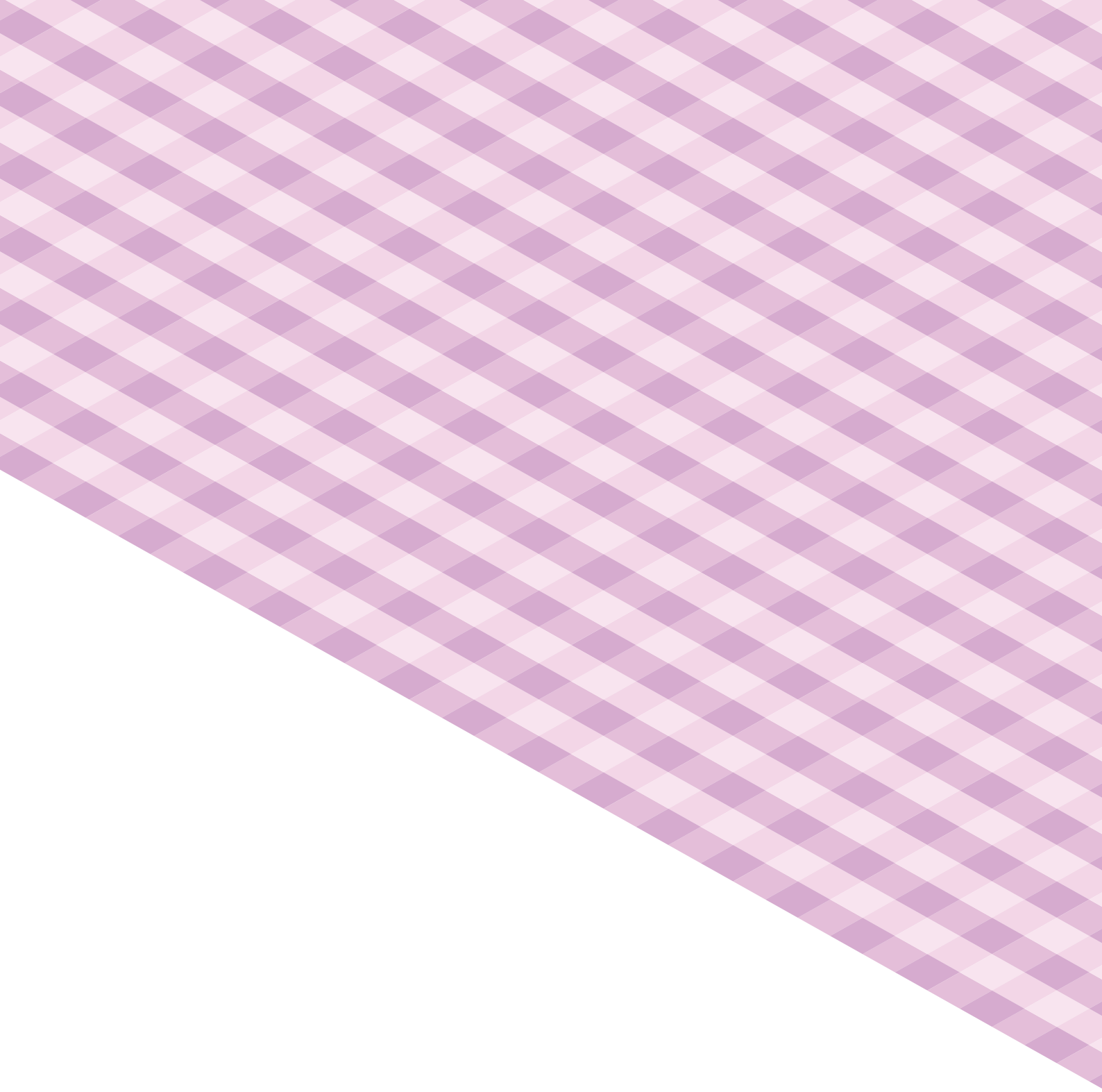
広島大学病院女性医師支援センターでは、①働きやすく効率のよい職場環境の整備、②働き続けられる職場、③離職しても復帰しやすい職場、④女性医師のキャリア継続支援、を目的とし、女性医師の仕事と家庭の両立を目指した支援を行っています。今年度は、より一層利用しやすくなるようホームページをリニューアルいたしました。これを通じ、各々にあった支援事業を今後も充実させていきたいと思っています。

センターを設置以降は、厚生労働省の支援事業に毎年申請・採択されております。令和 3 年度は、「女性医療職等の働き方支援事業」に採択され、これまでの活動を継続しつつ、種々の試みを行ってまいりました。特に医師として苦労を重ねてキャリアを継続されてきている女性医師、女性医師の割合の高い診療科の医局長、事務職員には多大な協力を得ながら活動し、本報告書をまとめるにいたりました。また、外部評価委員にはわれわれの活動に対する適格な審査と、今後のセンター活動に対しての貴重なご意見をいただくことも出来ました。

本報告書には今年度の反省点を記載しており、これを土台とし、今後改善していくことを課題としたいと考えます。持続可能な支援事業とその発展から、ひとりでも多くの女性医師がキャリアを継続し、医師としての職務を最大限全うすることができるよう、女性医師支援センター活動に職員一同、取り組んでまいります。今後ともご協力、ご支援をよろしくお願い申し上げます。

令和 4 年 3 月

広島大学病院 女性医師支援センター
センター長 堤 保 夫
(広島大学大学院 医系科学研究科 教授)

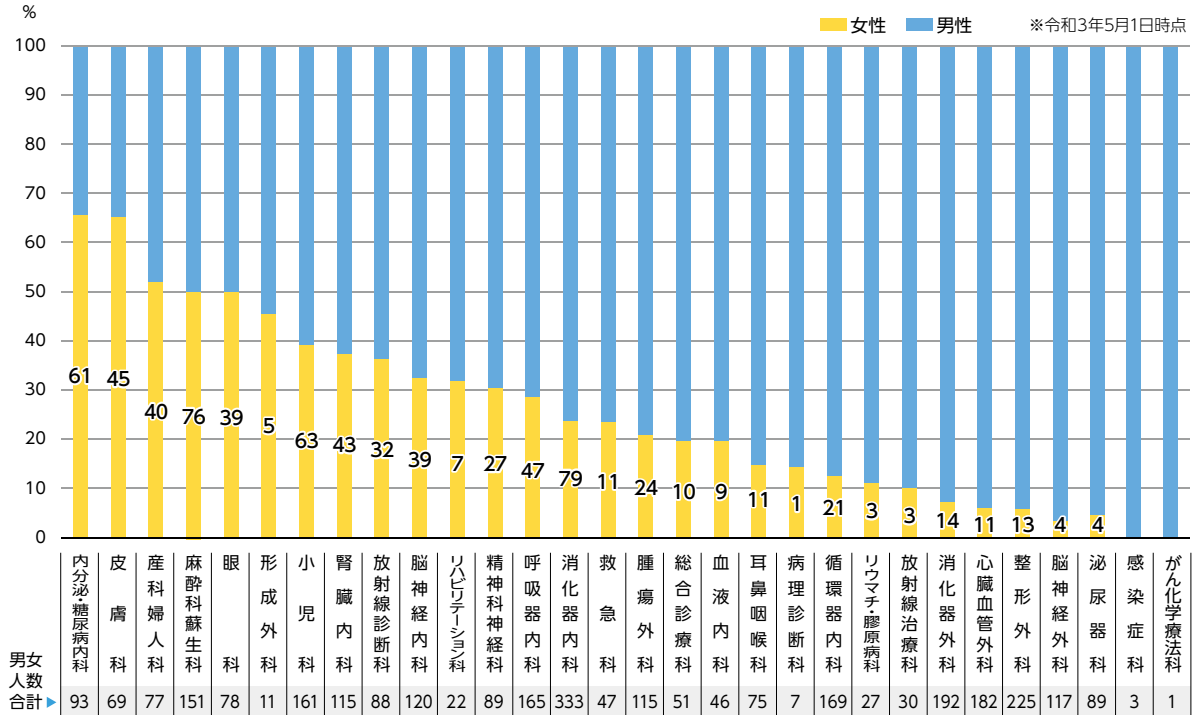


令和3年度 活動報告

令和3年度 活動報告

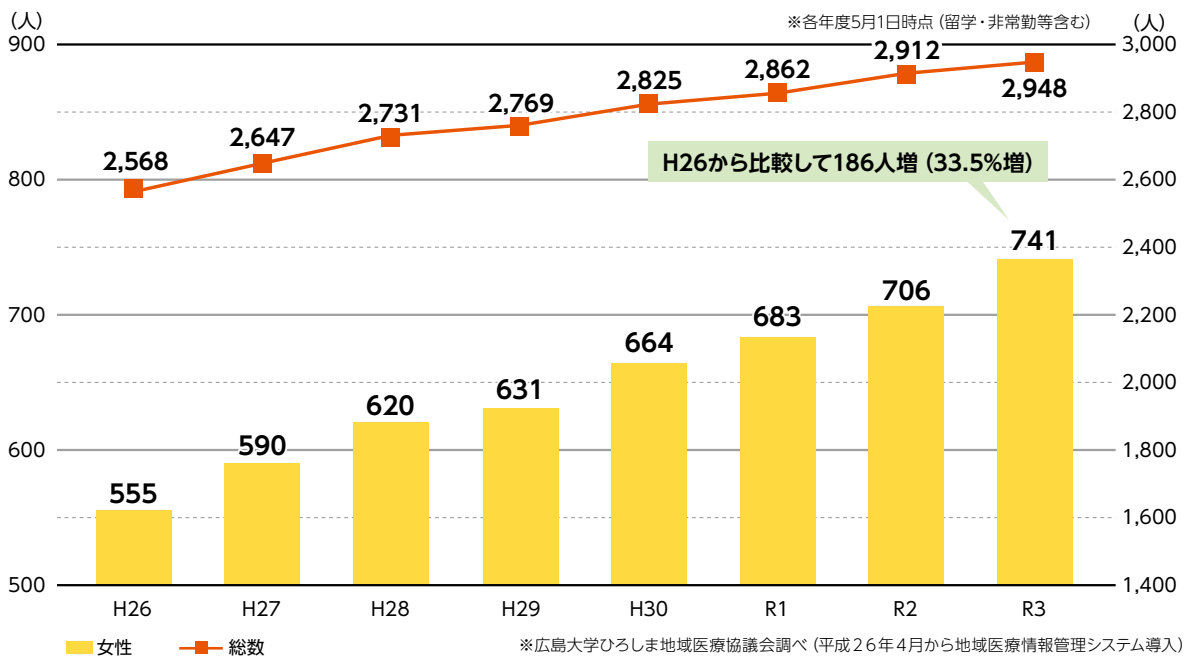
1 広島大学病院の現状について

広島大学病院の診療科別男女割合（関連病院含む）



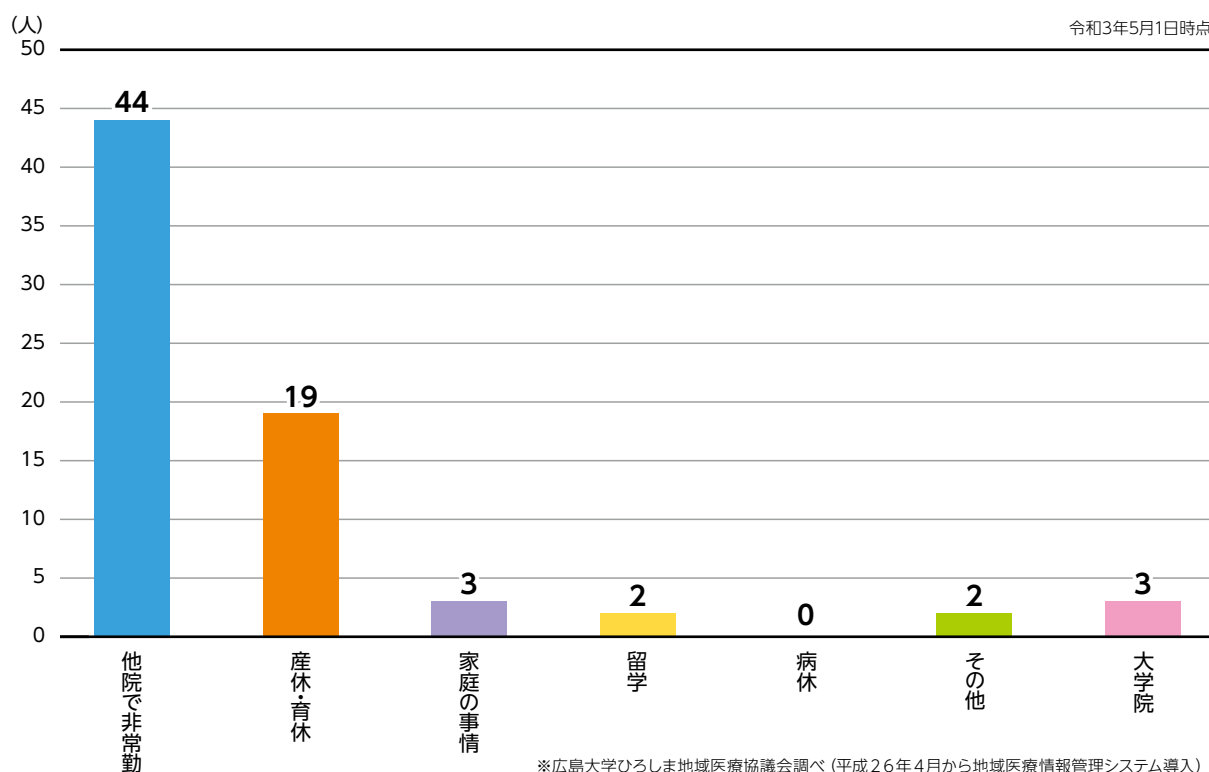
※広島大学ひろしま地域医療協議会調べ（平成26年4月から地域医療情報管理システム導入） ※グラフ内の数字は女性医師の人数

広島大学病院の年度別女性医師数推移（関連病院含む）



※広島大学ひろしま地域医療協議会調べ（平成26年4月から地域医療情報管理システム導入）

広島大学病院（関連病院含む）の女性医師のうち休職中の者の状況



広島大学病院女性医師支援センター設立の背景

広島大学においては男女共同参画推進室がこれまで主に女性研究者を対象として各種支援を実施してきたが、平成28年度まで女性医師に特化した支援体制は存在しなかった。近年、女性医師の割合が増加しているが、女性医師の中には、出産・育児等によりキャリアを中断せざるを得ない場合があり、各診療科や病院の運営には、女性医師へのキャリア継続のための支援が重要な課題となっている。このため、女性医師のキャリア継続には、職場のみならず同僚、家族全体の支援とワーク・ライフ・バランスを考えて行く必要があった。

このような状況を踏まえ、広島県内唯一の医育機関である広島大学として、「広島大学病院女性医師支援センター」（以下「センター」という。）を設置し、女性医師にとって働き甲斐のある病院であるように、働きやすい効率のよい職場環境の整備を支援し、働き続けられる職場、離職しても復帰しやすい職場を構築することを目的に、平成29年4月1日から広島大学病院、大学院医歯薬保健学研究科に属する女性医師、医学部医学科に属する女子医学生のキャリア支援を開始した。

なお、女性医師の臨床現場定着を目指した活動や臨床現場復職を目指した活動は、広島県、広島県医師会、広島県地域医療支援センターなど広島県下の様々な団体・医療機関との連携・協力により推進し、次世代育成を目指した活動は、広島大学財務・総務室「男女共同参画推進室」と連携して推進することとした。

また、センターの運営支援は、医療政策室において行うこととした。

2 令和3年度 女性医療職等のキャリア支援事業実施計画

「女性医師のさらなる活躍を応援する懇談会」報告書（平成 27 年1月 23 日）の内容及び令和2年度における女性医師支援センターの活動状況を踏まえ、実施計画を策定した。今年度は、特に以下のⅠ～Ⅲの事項に重点を置いた。

- I. 「広島三本の矢 女性医師支援チーム（広島三本の矢チーム）」によるキャリア継続・復職・保育に関する支援
- II. 広島県女性医師支援総合会議によるキャリア支援
- III. Web 会議ツールを駆使したキャリア支援

1. 職場の理解に関わる取り組み

- (1) 地域の医療機関、関係団体等との連携体制の構築
- (2) センター運営会議の開催
- (3) 広島県女性医師支援総合会議の開催

2. 相談窓口の設置

3. 勤務体制、診療体制に関わる取り組み
4. 保育に関わる取り組み
5. 復職支援に関わる取り組み

1-(1) 地域の医療機関、関係団体等との連携体制の構築

大学病院を中心とした地域における懇談会、女性医師支援に関わる講演会等を、広島大学病院女性医師、大学院女性医師、医学部医学科学生と広島県医師会女性医師部会・広島市医師会、広島県地域保健医療推進機構地域医療支援センター（医師のキャリア形成支援、地域医療の医師確保と環境整備の支援を行うことにより地域医療の充実や医師の活躍を支える環境整備など様々な取り組みを行っている）や県下の病院からの女性医師、またこれらを支える男性医師で共同開催し、広島大学病院を中心とした広島県全体の協力施設との連携体制を構築することとした。

1-(2) センター運営会議の開催

2 か月に 1 回程度開催することとし、女性医師懇談会、相談窓口からの情報の共有と、各診療科からの女性医師勤務体制、復職支援学習システム、復職研究コースなどのとりまとめを行い、個々の女性医師のキャリア支援、就職・復職支援に向け、総合会議でのマッチングを諮る場とした。

1-(3) 広島県女性医師支援総合会議の開催

広島三本の矢チームの構成組織である大学病院診療科長、各診療科人事担当者、広島県内の病院長あるいは人事関連担当者、広島県、広島市医師会女性医師部会、広島県地域保健医療推進機構地域医療支援センターに加え、医師を求める診療所などすべての関係者を対象とし、広島三本の矢チームコア会議やセンター運営会議から挙げられてくる事案についての情報共有、要望および情報の交換、女性医師、大学病院診療科、教育関連病院間での人材のマッチングを行うなど、女性医師キャリア支援に対する各職場での勤務体制を総合的に議論する。

2. 相談窓口の設置

相談窓口を拡充する。現在、女性医師や医学科学生のワーク・ライフ・バランス、キャリア支援のための相談窓口を本センターに設置しているが、広島三本の矢チームの一部として、広島大学病院女性医師支援相談窓口、広島県医師会女性医師等相談窓口、地域医療支援センター相談窓口の三者が一体となってキャリアの相談に応じる。

3. 勤務体制、診療体制に関わる枠組みの構築・継続

今年度も常勤復帰を目指した支援策を実施検討する。外来診療、病棟主治医としての勤務においては、各診療科で診療科長、診療科人事担当責任者を中心に複数主治医制など、女性医師の緊急事態や休暇に対する確実なバックアップ体制を構築する。複数主治医制の定着している各診療科の取り組みを広島県女性医師支援総合会議などで紹介し、各病院、各診療科への拡大を図り、その効果を検証する。

4. 保育に関わる取り組み

広島大学病院併設の保育園の利用促進および小学校の長期休業期間中の学童保育事業の周知と拡充を行う。出産前の女性医師への支援として、妊娠初期から臨月まで着用可能なマタニティ白衣・マタニティスクラブをセンターに備え、希望者に貸し出しを行う。

5. 復職支援に関わる取り組み

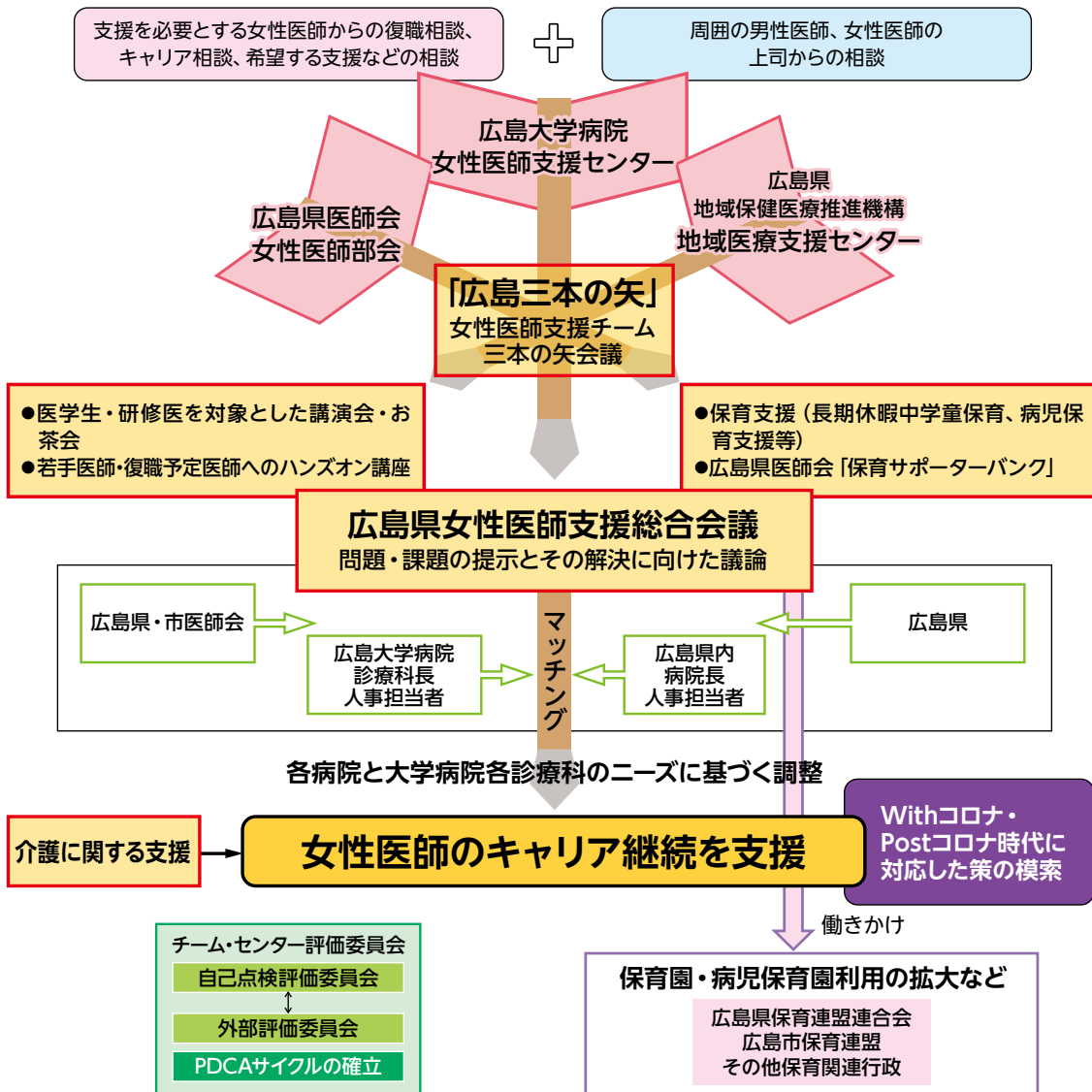
eラーニングシステムを用いた復職支援学習システムの構築、離職者に対する復職プログラムの立案を行い、プログラム実践時における広島大学病院研修・学習体制の有効利用を推進する。

3 活動実績

本年度の活動状況及び成果を以下に示す。

1. 職場の理解にかかるとの取り組み

「広島三本の矢：女性医師支援チーム」での支援



女性医師等の相談窓口として広島大学病院女性医師支援センター、広島県医師会、広島県地域医療支援センターで「広島三本の矢：女性医師支援チーム」を設立し、この三者が三位一体となって、互いに相談を受けた場合にすぐにコアメンバー会議を開き、支援策を展開する体制を整えている。相談のあった事例については、広島県女性医師支援総会議で議論し、マッチングを行い、女性医師のキャリア継続を支援した。

1-(1) 地域の医療機関、関係団体等との連携体制の構築

広島県医師会と連携し、女性医師・女子医学生をサポートするための講演会等を開催することにより、問題提起・解決策の模索を行った。

【医学生・研修医等をサポートするための会】

テーマ：様々な選択

[日時] 令和3年11月25日(木) 19:00～20:30

[場所] 広島大学広仁会館大会議室 および Web (Zoom) のハイブリッド開催

講演 座長：広島県医師会女性医師部会部会長

広島大学大学院医系科学研究科 心臓血管生理医学 石田 万里

講師：香川労災病院 第二緩和ケア科部長 木下 敏史

株式会社 Machiim 代表取締役 竹宮 孝子

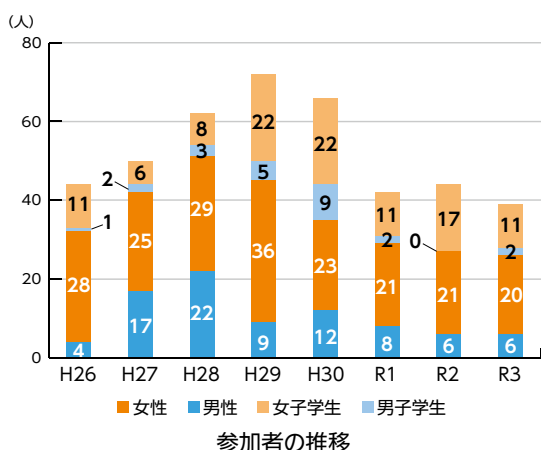
麻酔科医・第2次別姓訴訟原告 恩地いづみ



総参加人数は39人(医学生13人、医師17人、研修医4人、その他5人)であった。

今年度は、新型コロナウイルス感染症の状況が落ち着いていたため、現地とオンラインのハイブリッドで開催した。オンラインを導入したことで、地域の医師だけでなく、遠隔地の医師など、より多くの方に聴講いただけると同時に、演者もより広い地域からお集まりいただき様々な話を拝聴することができた。内容は、「様々な選択」と題して、医師という仕事や診療科にとらわれずに様々な選択をされた先輩医師の経験談や、夫婦別姓についてのお話をいただき、様々なライフイベントに対応していきながらキャリアを継続していく際に無限の選択がある事を改めて認識する機会となった。学生からは、これからの長い人生において「選択」は様々な場面があり、かつ、いつでも遅いということはないと知った、これまで全く疑問を抱いていなかったことを考えるきっかけとなった、等、参考になったと好評であった。

以下の図に示すとおり、最近では女子学生・女性医師だけでなく継続して男子学生・男性医師の参加も得られ、男女ともに働き方改革や女性医師のキャリア継続に対する意識の向上を図る機会として少しずつ浸透してきたと思われる。今後さらに発展させていきたいと考えている。



～参加者アンケートより～

■参加された感想は

医学生からの意見

- ▶ 医師にも様々な働き方とその原動力を知れた。
- ▶ 卒業と同時に新姓にする予定でしたが、何も疑問を抱いていませんでした。考えるきっかけとなりよかったです。
- ▶ いろいろなキャリアの方がおられておもしろかったです。
- ▶ たとえ病気になってもいろんな道を選べるのだと思いました。
- ▶ 人生の選択において遅いことはなく選択する立場に立たないと考えもしない価値、思考を知ることができました。
- ▶ 授業だと基本「成功」している話になるので、別の切り口から(大きなターニングポイントがあるわけではない?) 医師像を見られてよかったです。
- ▶ みなさんが様々なことに挑戦していてかっこよかった。

■参加されて女性医師支援、ワークライフバランス、男女共同参画に対する意識は変化しましたか

医学生からの意見

- ▶ 夫婦別姓制度が成り立たないと不利益を被る場合があることを知った。
- ▶ 戸籍の話をよく知らなかったので勉強になった。
- ▶ 姓を変えること事前業績に関わること等、女性医師と姓の知識を増やすことができました。
- ▶ 女性医師は大変だからとずっと言われてきたが働き方をある程度自分で決めていいということに気付かされた。
- ▶ みなさんの熱意に感化された。

■今後もこのような活動は必要だと思いますか

医学生からの意見

- ▶ 新たな知識を得られるから必要である。
- ▶ 予防医学などいままであまりなかった視点を得られたと思う。
- ▶ こういう平等に関することは一部の人のみではなく多くの人に周知されるべきだと思う。
- ▶ やる気につながる。不安がなくなる。
- ▶ 研修中、育休をとったらどのようなサポートを具体的にうけられるのか等、このようなきっかけがないと知ることが難しいと考えるため必要である。

■ご要望・ご意見

医学生・研修医からの意見

- ▶ 年齢が上の方のお話が多くて、なかなか自分にはイメージがわきづらかったです。
- ▶ 別姓に興味があるので知識を得ることができてよかったです。
- ▶ 先輩の先生方がどんなライフプランを持っていたか、実際に働く中で結婚や出産などで困った経験をされたことがあれば聞きたいです(専門医を取るのが遅れた。結婚で他県に移った場合に医局が変わると専門医はそのままスムーズにとれるのかなど知りたいです)。



【医学生と医師のお茶会】

【日時】 令和4年2月10日(木) 16:30～18:00

【場所】 Zoom を利用したオンライン開催

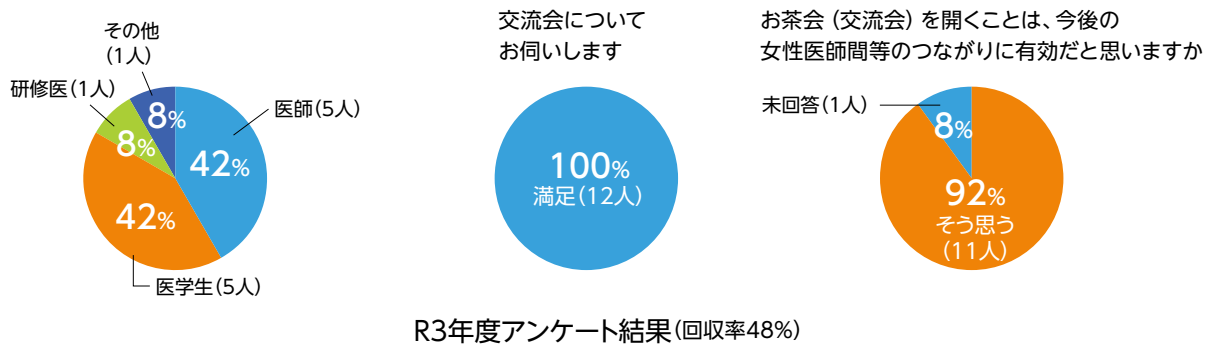
平成 27 年度の開始から、今年度で7回目の開催となった。参加者は医師 15 人、研修医 1 人、医学生 6 人、その他 3 名の計 25 人となった。

当初、現地とオンラインのハイブリッド開催を予定していたが、新型コロナウイルス感染症の拡大のためオンラインのみの開催となった。今回は、全体企画“どうやっ

て働いていますか”を設定し、6名の育児をしながら働いている女性医師に一日のタイムテーブル、仕事と育児の両立のヒントなどをお話いただいた。学生は興味がある診療科の医師から直接詳しい話を聞くことができたり、参加申し込みの際にあらかじめ記入した質問事項に答えてもらえたり、充実した時間を過ごせたと考える。最後に学生と医師で雑談を行い、また、参加の医師同士も気軽なやりとりができるなど、交流を深めることができた。

コロナ禍の中、学生への広報をどのように行うのが効果的であるかなど、学生の立場からの意見を次年度は取り入れ、次年度の開催につなげる予定である。





～参加者アンケートより～

医学生からの意見

- ▶ 子育てをしながら働く女医さん方の1日の過ごし方を知ることができて、イメージが沸きました。
- ▶ 今学生の自分が、数年後には医師になり、生活も仕事ももつ一人の女性としての日々が始まることを初めてリアルに感じ、とても参考になりました。ありがとうございました。

医師からのご意見

- ▶ 学生からもう少し積極的な発言があれば良かったなあと思いますが、そこはやはり対面でないと難しいのかなあと思いました。
- ▶ 広島大学の各診療科の女性医師の割合、子育て中の女性医師の割合、正職員、非常勤の割合、育休取得率(男女とも)、保活の状況などがわかればいいなと思います。
- ▶ 今回のような具体的な企画は大変参考になります。また、大変楽しく参加もできました。ありがとうございました。

成果

広島大学病院女性医師支援センターと広島県医師会との連携により、医学生、研修医等をサポートするための会および医学生と医師のお茶会を継続的に開催することができている。特に、この連携によって医学生、研修医等をサポートするための会への男子学生を含む医学生の参加者は継続して得られており、若い世代へのダイバーシティを考慮した情報提供、問題提起・解決策討論という目的を果たすことができていると考える。お茶会については、令和元年度からポスターの女子・女性という文字を削除した。このお茶会は、女子医学生や研修医が医師として働く際の女性特有の問題についてロールモデルを示しながら共に考えていこうという趣旨で行なっているが、実際には男性医師の理解も重要となるため、男子学生の参加も推進したいという思いからである。実際に男子学生の参加は少数ながら得られており、男性に学生の時からこの問題に対して興味をもち考えていただく良い機会になっていると考える。さらなる男子学生の参加を得て、出産・育児・介護と医師の働き方について、あるいはキャリア継続における問題について、男女ともに学生時代から討論できる機会を作っていきたい。

1-(2) センター運営会議

センターの具体的活動目標

- 各診療科からの女性医師支援のための提案の受入
- 女性医師を含めた医局との連絡網の充実
- 勤務条件に制約のある女性医師の医局人事外での就職のサポート
- 保育所の情報収集と伝達
- 病児保育に関する情報収集と伝達
- 医学部学生時代からのキャリア形成紹介と教育

女性医師支援センター運営委員会

[委員長] 堤 保夫 教授・センター長

[副委員長] 石田 万里 准教授・副センター長 / 中島 祐子 共同研究講座准教授・副センター長

	委員名	所属	職名	専門分野等
1	堤 保夫	大学院医系科学研究科	教授	麻酔蘇生学
2	石田 万里	大学院医系科学研究科	准教授	心臓血管生理医学
3	中島 祐子	大学院医系科学研究科	共同研究講座 准教授	運動器超音波医学
4	蓮 沼 直子	大学院医系科学研究科	教授	医学教育学
5	大月 幸子	大学院医系科学研究科	助教	麻酔蘇生学
6	土井 歆子	大学院医系科学研究科	特任講師	放射線腫瘍学
7	木田 佳子	大学院医系科学研究科	助教	救急集中治療医学
8	恵美 純子	病院	医科診療医	乳腺外科
9	沖 健司	病院	講師	内分泌・糖尿病内科
10	奥道 秀明	大学院医系科学研究科	特任助教	視覚病態学
11	石川 暢恒	病院	講師	小児科
12	梶 梅 あい子	病院	助教	小児科
13	亀頭 晶子	大学院医系科学研究科	助教	皮膚科学
14	向井 百合香	病院	助教	産科婦人科
15	帖佐 啓吾	病院	助教	放射線診断科
16	松田 万莉	病院	非常勤医師	放射線診断科
17	小左古 学	病院	グループリーダー	

令和3年度委員会開催状況

第1回	
日 時	令和3年6月9日(水) 16時30分から
議 題	1 広島大学病院女性医師支援センターの運営組織について
	2 令和3年度女性医師支援センターの年間事業について
	3 久留米大学・守屋先生のアンケートへの協力について
第2回	
日 時	令和3年10月19日(火) 16時30分から
議 題	1 広島県女性医師支援総合会議の開催について
	2 医学生と医師のお茶会の開催について
	3 診療科説明会開催に関するアンケートについて
	4 定員外の増員分の「女性医師採用支援枠」の募集について
メール審議 第1回	
日 時	令和4年1月31日(月)
議 題	1 広島大学女性医師支援センターの新規HPデザイン案について
メール審議 第2回	
日 時	令和4年2月8日(火)
議 題	1 広島大学女性医師支援センターの新規HPデザイン案について
	2 掲示板の名称について
メール審議 第3回	
日 時	令和4年3月17日(木)
議 題	1 広島大学女性医師支援センターの新規HPについて

広島大学病院女性医師支援センター運営委員会細則

平成 29.3.22

病院長決裁

(設置)

第1条 広島大学病院女性医師支援センター内規第8条の規定に基づき、広島大学病院女性医師支援センター運営委員会(以下「委員会」という。)を置く。

(所掌事務)

第2条 委員会は、次の各号に掲げる事項を審議する。

- (1) 女性医師支援センターの運営に関する事項
- (2) 女性医師支援センターの業務に関する事項
- (3) その他女性医師支援センターに関する事項

(組織)

第3条 委員会は、次の各号に掲げる委員で組織する。

- (1) 女性医師支援センター長
- (2) 女性医師支援センター副センター長
- (3) 内科系の女性医師のうちから2名
- (4) 外科系の女性医師のうちから2名
- (5) 病院運営支援部総務グループリーダー
- (6) その他病院長が必要と認めた者若干人

2 委員は、病院長が任命又は委嘱する。

3 第1項第3号、第4号及び第6号の委員の任期は、2年とし、4月1日に任命又は委嘱することを常例とする。ただし、4月2日以降に任命又は委嘱された委員の任期は、その任命又は委嘱の日から起算して1年を経過した日の属する年度の末日までとする。

4 第1項第3号から第6号までの委員の再任は、妨げない。

(会議)

第4条 委員会に委員長を置き、女性医師支援センター長をもって充てる。

2 委員長は、委員会を招集し、その議長となる。

3 委員長に事故があるときは、女性医師支援センター副センター長がその職務を代行する。

第5条 委員会は、必要と認めるときは、委員以外の者の出席を求め、その意見を聴くことができる。

(情報公開)

第6条 委員長は、委員会に係る情報のうち、個人情報等で公開が不相当と認められるものを除き、広島大学病院に係る教職員に対し、その情報の公開に努めるものとする。

(事務)

第7条 委員会に関する事務は、医療政策室医療政策・医学系研究推進グループにおいて処理する。

(細則の改廃)

第8条 この細則の改廃は、病院運営会議の議決により行う。

(雑則)

第9条 この細則に定めるもののほか、委員会の運営に関し必要な事項は、委員会が定める。

附 則

この細則は、平成 29 年 4 月 1 日から施行する。

附 則(平成 30 年 4 月 26 日 一部改正)

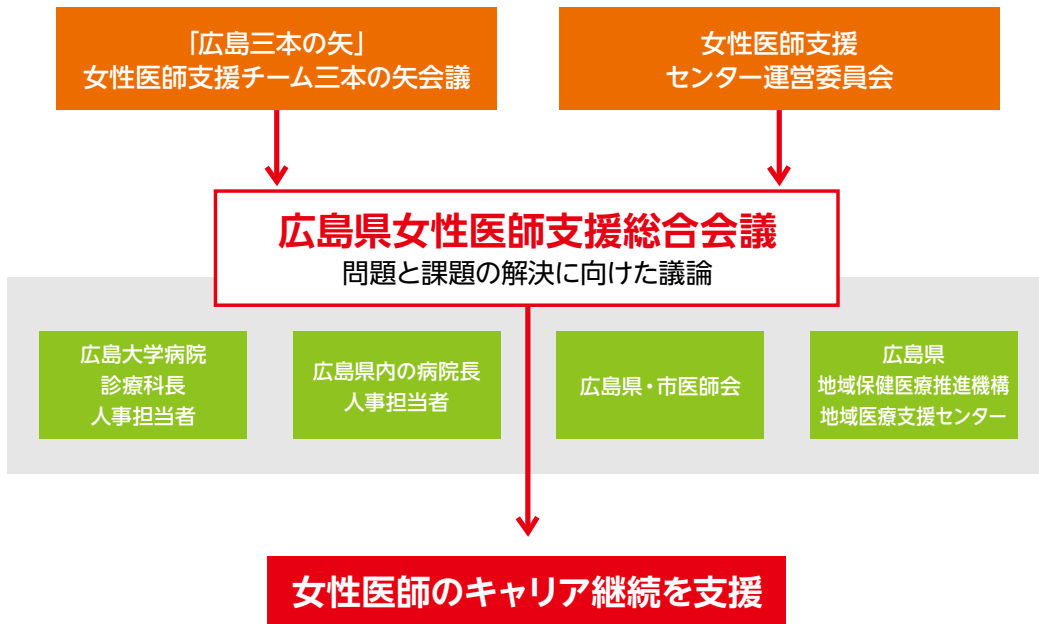
この細則は、平成 30 年 4 月 26 日から施行し、改正後の広島大学病院女性医師支援センター運営委員会細則の規定は、平成 30 年 4 月 1 日から適用する。

附 則(令和 2 年 9 月 18 日 一部改正)

この細則は、令和 2 年 9 月 18 日から施行し、この細則による改正後の広島大学病院女性医師支援センター運営委員会細則の規定は令和 2 年 4 月 1 日から適用する。

1-(3) 広島県女性医師支援総合会議

女性医師のワーク・ライフ・バランス、キャリア形成に関わる問題点の共有および解決策の検討のために大学病院診療科長、各診療科人事担当者、広島県内の病院長あるいは人事関連担当者、広島県、広島県および広島市医師会、広島県地域保健医療推進機構地域医療支援センターなどすべての関係者を対象とし、開催する。特に教育関連病院の人事が行われる年末より前に、女性医師の希望、診療科の状況、教育関連病院の実態等を総合的に議論し、女性医師と病院のマッチングの会議とする。



【日時】 令和3年12月9日 17:00～18:00

【場所】 オンライン会議

参加者

- 大学病院 14 診療科から科長または各医局等人事担当者
- 教育関連病院 16 施設の病院長または人事担当者
- 広島県医師会
- 広島市医師会
- 広島県地域医療支援センター
- 広島県
- 広島大学病院女性医師支援センター運営委員会委員



当日は、議長をつとめる堤センター長からの挨拶の後、石田副センター長から広島大学病院女性医師支援センターの取り組みについて報告があった。

議長からは、本会議の役割について説明があり、育児中などで制約のある女性医師がキャリアを継続できるよう、また、短時間でも勤務できる女性医師を必要とする病院との医局人事以外でのマッチングについて依頼があった。その後、関連病院と各診療科に事前に記入していただいたアンケートをもとに、夜間・休日保育や女性医師の支援等について、活発な意見交換が行われた。最後に、石田副センター長から医師のワークモチベーションについて説明があった。

教育関連病院から

- 全職種で行われている会議と全職員のアンケートで、夜間保育の要望があったため、月に2回実施するようにした。夜間保育の利用状況は、医師は利用しておらず、看護師が時々利用している程度。月に1回実施している日曜保育は、毎月医師の利用がある。
- 現在は夜間保育を実施していないが、以前病院で手配をしようとしたら、医師本人が自分の都合に合わせて契約していたことがある。必要があれば夜間保育の実施も考えるが、事前に必要度をよく共有してから進める予定である。
- 当直の際に夜間保育を利用すると、利用時間が24時間を超えることがあるが、保育施設では24時間以上、子供を預かれないため利用が難しい。
- 子育て中の女性医師が、原則時間外なしのフルタイムで働いているが、病児保育等も利用し、日中必ずいてくれるため、当直明けの医師が帰り易くなる等、凄く助かっている。
- 様々な条件で女性医師に働いてもらうためには、男性医師の評価も必要。
- 女性医師だけではなく、全体の働き方改革として、メリハリのある働き方を推奨し、超過勤務があまり増えないようにしている。

診療科から

- 在宅でできる遠隔診断等についても検討している。
- カンファレンスを時間内に行うようにしたら、意外とできるということを実感している。

広島県医師会から

- 女性医師に関して、先日開催された令和3年度女性医師支援担当者連絡会でも有益な情報があったので、ホームページ等で確認してほしい。

議長から

- 今日は大切な問題がいろいろ情報交換できたと思う。まだまだ未解決の課題はあるが、女性医師が力を出せるようにということで工夫しておられるということが共有できた。ぜひ今後とも工夫を重ねながら支援を続けていきたい。

相互の希望をマッチングしてキャリア継続支援

教育関連病院

課題、要望

- 短時間勤務医の受け入れ要望
- 院内保育対象外年齢に達した子どもの預け先

連携

広島県、 地域医療支援センター

広島県：女性医師等就労環境整備事業を実施
地域医療支援センター：「ふるさとドクター
ネットひろしま」を活用し、県内病院からの求
人情報の提供と就業希望者の相談に対応

- 教育関連病院の支援内容を
一覧にして配布
- 関連病院の院内保育園の概要を
一覧にして配布
- 複数の病院で常勤雇用での
時短勤務受入（応相談）
- 出席者間で情報共有

大学各診療科

課題、要望

- 関連病院の支援制度を知りたい
- 専門医取得のために常勤雇用での
時短勤務を
- 子どもの急な病気の際に預け先がほしい

連携

広島県医師会

- 子育て支援事業
【保育サポーターバンク】

広島大学関連の人事交流医師数 28 人以上の病院分布図



2. 相談窓口等にかかる取り組み

どの窓口にも相談しても三者で情報を共有し支援につなげる取組



平成 29 年 4 月 1 日付けで開設した広島大学病院女性医師支援センターでは、相談窓口を設置し、平日の 8:30 から 17:15 まで相談を受け付けてきた。また、直接来られない場合でも、電話又はメールでの相談を受け付け対応しており、センターの HP でも相談窓口の設置について広く案内している。これとは別に、広島県医師会にも女性医師等相談窓口があり、また、広島県地域医療支援センターでも相談を受け付けるなど、それぞれの窓口にあった相談については個々に対応する場合もあり、広島県内の女性医師が抱える問題にかかる総合的な情報共有のあり方が課題であった。

そこで、平成 30 年度から「広島三本の矢：女性医師支援チーム」を設立し、この三者が三位一体となって、互いに相談を受けた場合には、速やかにコアメンバー会議を開催し、支援策を展開するという体制を整えた。

そして、相談のあった事例については、広島県女性医師支援総合会議で議論し、マッチングを行い、女性医師のキャリア継続を支援していくこととした。

相談内容	対 応
産休・育休からの復帰に関する相談	副センター長からアドバイスを行った。
保育園に入園するための証明書に関する相談	センター担当の事務職員が対応し、説明の上、担当部署を紹介。
ふるさとドクターネットの相談コーナーに関する相談	副センター長からアドバイスを行った。
イベント等の照会	センター担当の事務職員が対応した。

女性医師支援センター

お問い合わせ

女性医師支援センターでは、皆さんからのご相談を受け付けています。

- ・休んでいたけど医師として復帰したい。
- ・子どもの保育施設や育児支援に関する情報を知りたい。
- ・仕事と育児を両立したい。
- ・その他、女性医師としてのキャリアについての相談、など

何でもお気軽にご相談下さい。電話はもちろんメールでも受け付けていますので、忙しい方でも時間を気にせずご相談頂けます。ご希望があれば直接面談することも可能です。
ひとりで悩まず、まずご相談ください。
ご連絡をお待ちしています。

■ 住所

〒734-8551 広島市南区霞一丁目2番3号
(臨床管理棟2F西側・医療政策室内)

■ 電話番号

TEL:082-257-1505/FAX:082-257-5962

■ メールアドレス

iryo-seisaku@office.hiroshima-u.ac.jp



3. 勤務体制、診療体制にかかる取り組み

出産・育児等のために、長期にわたって医療現場から離れていた女性医師が、再び診療を行えるようになるまでには、一律の復職支援では十分ではない。復帰する診療科によって必要とされる手技や知識は全く異なるうえ、休んでいた期間の長さ、両親や配偶者の支援がどの程度受けられるか、子どもの健康状態がどうか、などによって、女性医師が必要とする支援は様々である。

本学病院においては、診療科ごとに、女性医師の状況に応じて、柔軟な配慮を行うことができるよう取り組んだ。具体例を以下に記載する。

各診療科独自の取り組み

- 女性医師との日程調整
- 朝8時台のカンファレンス、ミーティングの免除
- 緊急手術、緊急処置などの際に勤務時間延長とならないよう配慮
- 子の急病などの際の勤務変更など配慮
- 家庭の事情などによる勤務時間、勤務形態などの変更への配慮
- 時間短縮勤務の徹底
- 急な欠勤も対応可能にする
- 日当直及び夜間待機の免除
- 診療科スタッフの診療支援（陪席、技術支援）
- 日常診療や最新医療の知識、手技の獲得
- e-learning の推進 など

4. 保育にかかる取り組み

小学校・保育園の臨時休校・休園にかかる学童保育利用を支援

今年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のために小学校や保育園が臨時休校・休園となることがあった。

子どもがいる医師の家庭においては、保護者も医療従事者として勤務を継続することを求められる中、子どもの預け先に苦慮する状況となる等、臨時休校・休園に対応するために、民間の学童保育やベビーシッター等を利用した医師の家庭に対しては、利用料の一部を支援することとした。

関連病院等の院内保育園について情報提供

霞キャンパスの敷地内では、たんぼぼ保育園（定員 72 名）と、こすもす保育室（定員 6 名）を設置し、教職員の仕事と子育ての両立を支援しており、入園募集の開始などについて、適時に女性医師支援センターの HP に掲載するとともに、メーリングリストを活用して情報提供するほか、小学校の長期休業期間内に霞キャンパスの敷地内で実施される学童保育や、病後児保育利用料補助事業の募集などについても、情報提供を継続している。

また、人事交流で異動しながら勤務することが多い医師のため、関連病院の協力を得て、各病院が運営する院内保育園の定員、開園時間、保育料、入園申込みの連絡先などの情報を一覧にまとめ、HP に掲載している。



院内保育園の設置状況 R4.3.31 広島大学病院女性医師支援センター調べ

施設名	施設名称	保育施設名称	利用対象職種	定員	年齢別内訳	開所日	日祝	保育時間	延長保育	保育料	病児・病後児保育	夜間保育	給食	申込み時期 ※ 4月入園の場合	入園決定時期	担当連絡先	年度途中入園	備考
1	県立広島病院	みらい保育所		40人程度	年齢別の定員なし 3歳になった年度末まで	月～土	なし	7:15-18:15	18:15-20:15	広島市規定に準ずる	あり	月2回	あり	随時		総務課庶務係 082-254-1818	空きがあれば可	
2	広島市立安佐市民病院 ※ 備考欄を要確認	めばえ保育室	機構職員全て	50人	年齢別の定員なし 3歳になった年度末まで	月～日 (毎日)	あり	7:00-18:00	18:00-20:30	月額 22,000円 (日額 1,100円) 給食代 (1食 300円) おやつ代 (1食 50円) は別途徴収	あり	15:00-10:00 (週2回)	あり			事務室総務課庶務係 082-815-5211 内	空きがあれば可	令和4年5月の病院移転開業に伴い、院内保育室が敷地外の保育園となりました。病児保育室として機能します。現在は3歳未満児までの受け入れですが、移転以降は小学校就学前までの受け入れも可能となります。
3	広島市立広島市民病院	くるみ保育室		50人	0～3歳まで 3歳になった年度末まで	月～金	なし	7:00-18:00	18:00-20:30	22,000円	病後児保育あり	なし	あり	申込期間定めなし。就労希望者及び職場復帰希望者について随時受付		総務課庶務係 082-212-3134	可	
4	広島市立舟入市民病院	なし																
5	広島赤十字・原爆病院	院内保育所 こころ	全職種	30人	年齢別の定員なし	月～土	なし	7:30-19:30	あり 随時	30,000円 (3歳未満) 30,000円 (3歳以上)	なし	あり	あり	1月以降	3月中旬頃	人事課 082-241-3111(内)3142	空きがあれば可	
6	J A 広島総合病院	さくら保育園	病院職員 (有期契約者除く)	60人	年齢別の定員なし	月～土	なし	7:30-19:30	なし	35,000円 (3歳未満) 35,000円 (3歳以上)	なし	あり 金曜日のみ	あり	常時		総務課 0829-36-3111 内	空きがあれば可	
7	J A 尾道総合病院	すくすく保育園	全職種	42人	年齢別の定員なし	月～金	なし	7:30-18:00	なし	24,000円 (3歳未満 3歳以上) ※ 2人目から半額	なし	なし	あり	9月中旬頃	11月頃	人事課 0848-22-8111	空きがあれば可	
8	J R 広島病院	のぞみ保育園	職種制限なし	46人	年齢別の定員なし	月～土	なし	7:30-18:30	18:30-19:00	32,000円 (3歳未満) 8,000円 (3歳) 8,900円 (4歳以上)	あり	なし	あり	11月1日頃	12月下旬頃	事務室総務課企画課 082-262-1171	空きがあれば可	
9	中国電力株式会社 中電病院	なし																
10	マツダ病院	にこにこキッズ園		20人	年齢別の定員なし	病開院日	あり	7:30-18:30	18:30-19:30	48,000円 (3歳未満) 27,500円 (3歳以上)	なし	月2回 第2・4金曜日	あり	10月1日頃		総務チーム 070-7577-0533	空きがあれば可	
11	中国労災病院	もみじ保育園		33人	0～3歳まで 3歳になった年度末まで	月～金	なし	7:30-17:30	17:30-19:00	21,000円 (給食代 1食 280円、おやつ代 1食 80円は別途徴収)	なし	なし	あり	2月1日頃		総務課 0823-72-7171	空きがあれば可	
12	呉共済病院	駅前せいれんじ	全職種	52人	0歳12人、1歳20人、2歳20人、3歳～5歳若干名	月～土	なし	7:30-19:00	19:00-21:00	37,000円 (0歳) 37,000円 (1歳以上)	なし	なし	あり	9月末	随時	職員課 0823-22-2111	可	

令和3年度
活動報告

施設名	施設名称	保育施設名称	利用対象職種	定員	年齢別内訳	開所日	日祝	保育時間	延長保育	保育料	病児・病後児保育	夜間保育	給食	申込み時期 ※4月入園の場合	入園決定時期	担当連絡先	年度途中入園	備考	
13	呉医療センター・中国がんセンター	すずらん園		50人	年齢別の定員なし	月～土(土曜は第2、第4のみ)	なし	7:45-19:00	19:00-21:00	24,000円(2歳未満) 22,000円(2歳以上)	なし	あり	あり	不定期	不定期	0823-22-3111(代)		空きがあれば可	
14	東広島医療センター	あゆみ園	全職種	60人	年齢別の定員なし	月～金	あり(土曜も)	7:45-18:30	7:30-	29,000～31,900円(3歳未満) 26,900円(3歳以上)	なし	なし	あり	随時		保育所 082-423-2176(代)		可	
15	広島西医療センター	たけのこ保育園		30人	生後8週間～4歳まで	月～土	なし	8:00-18:30	6:40-19:30	24,500円(0～1歳) 25,000円(1～2歳) 24,500円(2～3歳) 21,000円(3歳以上)	あり	なし	なし	入園しようとする1か月前までに入園申込書を提出し、4月入園の場合3月1日頃	3月7日頃	たけのこ保育園 0827-59-3577		空きがあれば可	
16	土谷病院	あかねキッズ	あかね会職員であれば職種は問わない	16人	0～3歳	月～土	あり(祝日のみ)	7:30-19:30		35,000円(3歳未満) 30,000円(3歳以上) 但し収入により増額の可能性あり	なし	なし	あり	随時	3月15日頃	医療法人あかね 会本部事務局 082-245-9274		空きがあれば可	
17	市立三次中央病院	さくらんぼ		19人	年齢別の定員なし	月～土	なし	7:30-18:30	18:30-19:30	25,000円(3歳未満)	なし	なし	あり	随時		病院企画課 0824-65-0152		可	
18	広島大学病院	たんぽぽ保育園 こすもす保育園	病院勤務の全職種 拡大勤務の全職種	72人 6人	0歳～5歳児まで各12人 生後15か月未満まで6人	月～日祝 月～金	あり なし	7:30-19:00	19:00-20:00	59,000円(3歳未満) 38,000円(3歳以上) 53,400円(0歳～2歳児)	他施設の利用料を補助	なし	あり	1月中旬頃	2月上旬頃 3月上旬頃	たんぽぽ保育園 082-257-5599 男女共同参画推進室 082-424-4355		追加募集時のみ可 要相談	https://www.hiroshima-u.ac.jp/hosp/tanpopo/ https://www.hiroshima-u.ac.jp/gender/worklife/cosmos
19	庄原赤十字病院	タンネの森	職員の子ども	10人	0～2歳	月～土		7:30-19:00	18:30-19:30		なし	あり(木曜日)	あり						
20	社会福祉法人恩賜財団済生会広島病院	保育室さくら		30人	2か月～3歳	月～土	あり(第2日曜日のみ開所)	8:00-18:00	18:00-21:00 7:00-8:00	25,000円(3歳未満)	あり	なし	あり	随時募集		総務課 082-884-2566		可	
21	JA広島厚生連吉田総合病院	吉田総合病院保育室 たんぽぽ		18人	年齢別の定員なし	月～土	なし	8:00-18:30		35,000円(3歳未満) 24,500円(3歳以上)	なし	なし	あり	申込の都度対応		人事課 0826-42-0636		空きがあれば可	
22	県立障害者リハビリテーションセンター	なし 設置予定なし																	
23	吉島病院	なし 設置検討中または未定																	
24	社会福祉法人恩賜財団済生会呉病院	保育室「なでしこ」		25人	年齢別の定員なし	月～金	あり(月1～2回(土含む))	8:00-19:00		20,000円(3歳未満) 15,000円(3歳以上)	なし	なし	あり(弁当)	入園は随時可能		事務部総務課 (0823-21-6011(代))		可	
25	一陽会原田病院	クローバー保育園		27人	年齢別の定員なし	月～土	あり(第2日曜日(当番日))	7:30-19:00	夜間対応あり	15,000円(3歳未満) 3歳未満、3歳以上 +給食代+夜間等	なし	あり	あり			管理本部		可	
26	広島県立安芸津病院	なし 設置予定なし																	
27	三原市医師会病院	さつき保育園		30人	年齢別の定員なし	月～土	なし	8:00-18:00 (月1～3土曜日 は8:00-13:00)	18:00-19:00	10,000円(3歳未満) 10,000円(3歳以上)	なし	あり	なし	随時募集		総務課 0848-62-3113		空きがあれば可	
28	呉市医師会病院	保育所ひだまり						24時間保育可能		10,000円(3歳未満) 10,000円(3歳以上)	なし	あり	あり						
29	安芸市民病院	すこやか保育園	職員の子ども	15人	0歳から小学校就学前まで	月火木金土	なし	7:30-18:30		30,000円(3歳未満) 20,000円(3歳以上)	なし		あり						
30	三次地区医療センター	きらきら保育園		12人	1歳～3歳未満	月～土	原則なし	8:00-18:30		11,000円～22,000円	なし							三次市役所へ申込	
31	総合病院福生協病院	ひまわり保育園			0歳3人 1～2歳12人	月～土	あり	8:00-17:30	17:30-18:30	25,000円(3歳未満)	あり	あり	あり	随時募集		ひまわり保育園 082-292-3183		空きがあれば可	
32	三菱三原病院	なし 設置予定なし																	
33	公立みつぎ総合病院	院内保育所あゆみ		19人	年齢別の定員なし 生後8週から満3歳に達した年度末まで	365日保育可能		6:30-19:30 8:00-19:30		35,000円(3歳未満)	なし	あり	あり	11月初旬頃	12月中旬頃	総務課 0848-76-1111		空きがあれば可	
34	公立世羅中央病院	きらめきキッズルーム		18人	年齢別の定員なし 学童8人	12/29～1/3以外開所	あり	7:00-18:00	18:00-20:00	15,000円(3歳未満) 11,000円(3歳以上) 延長1日200円 夜間1日200円	なし	あり	あり(20:00～翌7:30)	随時募集		080-2894-8323		可	
35	安芸太田病院	なし 設置予定なし																	
36	広島記念病院	なし																	
37	大慈会三原病院	ひまわり保育園			0歳3人、1歳7人、2歳5人、3歳6人、4歳6人、5歳6人、6歳以上7人	毎日(但し1/1元日除く)	あり	8:00-17:30		1日800円 半日400円 (3歳未満、3歳以上)	なし	なし	なし	3月10日頃	3月15日頃	事務部保育課 0848-63-8877(代)		可	
38	国立病院機構福山医療センター	杉の子保育園		55人	0歳10人、1歳20人、2歳20人、3歳以上5人	月～金(土は要望のあるときのみ)	第2、4日曜は要望のあるときのみ	7:45-19:00(土日は保護者の勤務時間にあわせて)		29,000円/月(3歳未満、3歳以上) (兄弟の場合、二人目が24,000円)	なし 設置予定あり	なし	あり	随時募集		杉の子保育園 084-920-7010 福山市沖野上町4-10-24		空きがあれば可	H31年5月以降に院内保育室を設置する計画が進行中
39	広島市子ども療育センター	なし 設置予定なし																	
40	厚生堂長崎病院	横川さくら保育園			0歳4人、1歳4人、2歳4人	月～土	なし	8:00-18:00	18:00-18:30	45,000円(3歳未満)	なし	なし	あり	1月頃	3月頃	経理課 082-208-5801(内5616)		空きがあれば可	
41	信愛会日比野病院	日比宅		23人	年齢別の定員なし	月～土	あり	8:00-19:00		1日100円(3歳未満) 1日100円(3歳以上)	なし	あり	あり	随時募集		日比宅 082-848-5950		可	
42	国立病院機構呉医療センター	たんぽぽ保育園		6人	1歳2人、2歳4人	月～土	なし	8:00-19:00		25,000円(3歳未満、3歳以上) 2人目～21,000円	なし	なし	あり	3月1日頃	3月10日頃	0823-81-0125		可	
43	因島医師会病院	院内託児所		13人	0歳6人、1歳3人、2歳4人	月～土	なし	8:30-17:00 ±8:30-12:15		10,000円/月(3歳未満) 10,000円/月(3歳以上)	なし	なし	なし	随時募集		会計課院内託児所担当 0845-24-1210		可	

	施設名	保育施設名称	利用対象職種	定員	年齢別内訳	開所日	日祝	保育時間	延長保育	保育料	病児・病後児保育	夜間保育	給食	申込み時期 ※4月入園の場合	入園決定時期	担当連絡先	年度途中入園	備考	
44	たかまざ会山崎病院	パンピ保育所		15人	年齢別の定員なし	月～日	あり	7:30-18:00	18:00-20:00	10000円(3歳未満) 10000円(3歳以上)	あり	あり	あり					空きがあれば可	
45	光臨会 荒木脳神経外科病院	アラキッズルーム			0歳4人 1歳4人 2歳4人	全日	あり	7:30-19:00	19:00-24:00	6,000円(3歳未満) 6,000円(3歳以上)	なし	あり	あり	随時募集		総務部 082-272-1114		可	
46	せがわ瀧野川病院	瀧野川病院託児所		定めていない	1歳6人 2歳2人 3歳2人	月～土	なし	8:30-17:00	17:00-18:00	1日500円(3歳未満) 1日500円(3歳以上)	なし	なし	なし	随時募集		看護部長室から託児所(連絡先:看護部長室)		可	
47	井野口病院	井野口なかよし保育園		30人	年齢別の定員なし	月～土	あり	8:00-18:30	保護者の勤務終了まで	5時間以内450円 5時間以上600円	なし	なし	あり			保育園 082-422-3711		可	
48	呉共済病院忠海分院	なし 設置予定なし																	
49	祥和会脳神経センター大田記念病院	あすなろ託児所			0歳9人 1歳～未就学児21人	月～土 年末年始(12/29～1/3)除く	あり 第2・4のみ	7:45-18:00	18:00-20:00	5時間以下800円、 8時間～10時間以下1,100円、 10時間～100円/15分、 上限25,000円/月 給食:300円/食、 おやつ教材費100円/回	なし	なし	あり	9月末頃	11月初旬頃	法人本部 総務グループ 084-931-8660		空きがあれば可	利用条件が他にもあるので詳細はお問い合わせを。
50	まりも会ヒロシマ平松病院	なし 検討中または未定																	
51	うずい会高麗ニュータウン病院	高麗ニュータウン病院保育室	職員の子		年齢別の定員なし	月～日	あり	8:00-18:30		1時間100円(3歳未満) 1時間100円(3歳以上)	なし	なし	なし (弁当の注文可)	随時募集		事務部 082-843-1211 (小崎様)		可	
52	広島厚生会広島厚生病院	広島川島園保育園 (近隣にあるグループ内施設の院内保育園)		10人	0歳3人 1歳7人 2歳0人	月～土	なし	7:30-18:30		認可料金 (3歳未満) (法人補助あり)	なし	なし	あり					可	
53	ハートフルアマノリハビリテーション病院	あまの保育園			0歳18人 1歳22人 2歳20人 3歳10人	月～日	あり	7:50-18:30		8,000円/月(3歳未満) 8,000円/月(3歳以上)	あり	あり	あり			あまの保育園 0829-32-8800		空きがあれば可	現在の保育園を移転、増築予定(H31.3開所)のためH31.3以降の状況
54	広島県立心身障害者こころは療育園	なし 設置予定なし																	
55	樹草会本永病院	あり		25人	1歳～3歳	月・火・水・金・土	なし	7:30-18:00		500円/日(3歳未満)	なし	なし	なし	随時募集		事務部 082-423-2666		空きがあれば可	
56	辰川会山陽病院	おひさま保育園			0歳7人 1歳11人 2歳12人	月～土	あり 祝日のみ	7:30-18:30		15,000円(3歳未満)	なし	なし	あり	随時募集		事業本部 渡辺様、辰川様 084-926-9105		可	市の認可を受けている事業所内保育のため申込から入園まで2週間程度必要
57	広島県立福山若草園	なし 設置予定なし																	
58	広島通信病院	なし 設置予定なし																	
59	一ノ瀬病院	なし 設置予定なし																	
60	井口医院	こども育成きゆう			定員、年齢別制限なし	月～土	あり	7:30-19:30	19:30-21:00	20,000円(3歳未満) 20,000円(3歳以上)	なし	なし	あり	随時募集		総務		空きがあれば可	
61	貴和会佐伯中央病院	なし 設置予定なし																	
62	清風会廿日市記念病院	清風会保育室		25人	年齢別の定員なし	全日	あり	0:00-24:00		15,000円(3歳未満) 14,000円(3歳以上)	なし	あり	あり 300円/食	随時募集		管理本部総務課 082-943-7725		可	
63	せいざん青山病院	看護施設を兼ねて設置																	
64	清平会三原城町病院	おひさま保育所		33人	年齢別の定員なし	月～日	あり	8:00-18:00	木 18:00-22:00	15,000円又は 13,000円(3歳未満) 13,000円(3歳以上)	なし	なし	あり	随時募集	口頭にて	0848-64-1212		空きがあれば可	
65	玄同会小島病院	小島病院託児所		なし		日・祝		8:00-18:00		1,000円(3歳未満) 1,000円(3歳以上)	なし	なし	あり	都度入所		管理課及び託児所 084-976-1351		可	
66	慶寿会千代田中央病院	なし 設置予定なし																	
67	せがわ会千代田病院	たんぽぽ保育所		15人	年齢別の定員なし	全日	あり	8:00-18:00		10,000円(3歳未満) 10,000円(3歳以上)	なし	なし	あり			事務総務課 0826-72-6511		可	
68	松栄会瀧野川病院	なし 設置予定なし																	
69	財竹政会セントラル病院	託児所(病院附属無認可)		20人	年齢別の定員なし		あり	7:30-翌1:30		7,000円(3歳未満) 7,000円(3歳以上)	なし	あり	なし			看護部長		空きがあれば可	
70	府中市民病院	おひさま保育所			0歳3人 1歳3人 2歳4人	月～土 (12/29～1/3までは休園)	なし	7:30-18:30	18:30-19:30	20,000円(3歳未満) 20,000円(3歳以上) +給食代	あり	なし	あり	10月1日頃	11月1日頃	総務課 0847-45-3300		空きがあれば可	
71	府中北市民病院	なし																	
72	社団沼南会沼隈病院	託児所つばひ		30人	0歳～2歳	月～土	あり	8:00-18:00		15,428円(3歳未満)	なし	なし	あり	2月末頃	3月中旬頃	経営管理部 084-988-1995		可	
73	微風会ビハラー花の里病院	チャイルドハウスいづみ		30人	0歳～5歳	月～土	あり	7:10-19:00 +7:45-12:30		15,000円(3歳未満) 25,000円(3歳以上)	あり	なし	あり			病院事務所 0824-62-7700		空きがあれば可	

一覧は、女性医師支援センター HP からダウンロードできます。

広島県医師会の保育サポーターバンクの運営を支援

子育て中の医師が仕事と家庭を両立させていくための支援として広島県医師会が運営を開始した保育サポーターバンクの運営について、大学病院内にポスター掲示し、各診療科へ案内を配布したほか、センターのHPに掲載するなど、子育て中の医師への周知を図った。また、女性医師支援センター長と副センター長が、広島県医師会の「子育て支援事業運営委員会」の委員に就任するなど、事業運営においても緊密に連携している。

子育て中の 医師の方々へ!

県
医
師
会

保育サポーターバンク

をご活用ください

保育サポーター バンクとは..

- 子育て中の医師が仕事と家庭を両立させていくための支援です。
- 支援内容は、保育サポーターが保育と併せて出来る範囲であれば制限はありません。
(病児・病後児保育や家事支援も、双方の話し合いで合意すれば可能です。)
- 報酬は医師と保育サポーターが話合って決めます。

※保育サポーターの皆さんには子育て支援員研修を受講いただいております。

支援の流れ

支援の例

- 子どもと一緒に医師宅(もしくはサポーター宅)で留守番。
- 保育園(幼稚園)・習い事や塾への送迎。並びにその前後の預かり。
- 残業の日、当直、急な呼び出しの時の子どもの預かり。
- 子どもと一緒に留守番をしながら、子どもの食事や簡単な掃除。

※契約は2者間の委託契約となります。

お申し込み・お問い合わせ

育児で困ったら、お電話かメールを下さい。広島県医師会は、子育て医師を応援します!男性医師からの相談も受け付けます。

☎ 082-568-1511

受付 月曜~金曜 10:00~12:00/13:00~17:00

一般社団法人広島県医師会 保育サポーターバンク

〒732-0057 広島市東区二葉の里3丁目2番3号
sapo-to@hiroshima.med.or.jp

マタニティ白衣・マタニティスクラブ レンタル

平成 29 年 7 月から、マタニティ白衣を女性医師支援センターに備え、利用を希望する女性医師へのレンタルを開始し、令和 3 年 3 月からは、マタニティスクラブのレンタルも開始した。

学章が入るものと入らないもの 2 通りを用意し、広島大学病院だけでなく、広島県内に勤務する女性医師も着用できるよう配慮している。

令和 3 年度の利用実績については以下のとおりであった。

今年度は利用者の要望に応え、マタニティ白衣のサイズを 1 種類追加した。学外の病院に勤務する女性医師にも貸出しを行うなど制度の浸透が進んでいる。

診療科等名	職名	貸出期間
県立広島病院	医師	令和 3 年 10 月～12 月
皮膚科	医科診療医	令和 3 年 10 月～12 月
保健管理センター	助教	令和 3 年 11 月～令和 4 年 3 月
麻酔科	医科診療医	令和 4 年 3 月～4 月 (予定)

広島大学病院女性医師支援センター

マタニティ白衣 レンタルします

★マタニティスクラブも追加しました★
おひとり2枚まで貸し出します
サイズは3種類!

広島県内の医療機関に勤務されている方へ
■郵送のご希望も受付ます。
■学章の入らないタイプもご用意しています。

マタニティ白衣等の特徴
■腰囲を調節できます。
■袖口まで対応可能
■ダブル仕立てでお腹のふくらみが目立ちません。

受付時間 月～金曜日
8:30～17:15

(S・M・Lサイズあり)
ご試着できます

広島大学病院女性医師支援センター
広島市南区南1-2-3 臨床管理棟2階 (旧改築棟内)

082-257-1505
内線(6538)

※往復に限りがありますので、まずはお電話ください。

5. 復職支援にかかる取り組み

出産・育児等のために、長期にわたって医療現場から離れていた女性医師が、再び診療を行えるようになるまでには、一律の復職支援では十分ではない。復帰する診療科によって必要とされる手技や知識は全く異なるうえ、休んでいた期間の長さ、両親や配偶者の支援がどの程度受けられるか、子どもの健康状態がどうか、などによって、女性医師が必要とする支援は様々である。

本学病院においては、診療科ごとに、女性医師の状況に応じて、柔軟な配慮を行うことができるよう、取り組んでおり、日本医師会女性医師支援センターが実施する女性医師の再研修受け入れに、再研修支援施設として登録している。

日本医師会 女性医師バンク

お問い合わせ
03-3942-6512

ログイン

医療機関の方へ

ホーム

常勤・非常勤検索

スポット検索

初めての方へ

事例紹介

よくあるご質問

トップページ > 女性医師バンクの再研修・復職支援

女性医師バンクの再研修・復職支援



日本医師会女性医師バンクでは、結婚、出産やご家庭のご事情で離職された先生方の復職をお手伝いしております。専門のコーディネーターが先生方お一人お一人のご希望に寄り添い、再研修～復職までをお手伝いいたします。是非、ご相談ください。

女性医師バンクの復職支援

再研修・再教育制度のある施設の登録が多数！

特定期間・週1日午前中～など無理のない働き方で復職ができます。

経験豊富な専任コーディネーターによるきめ細やかなサポート体制。

経験豊富な専任コーディネーターによるきめ細やかなサポート体制。

ご登録から就業開始までの流れ

ご登録

ご登録いただけますとコーディネーターよりご連絡をいれさせていただきます。

ご希望のヒヤリング

先生のご希望や今後のキャリア形成についてコーディネーターがお電話でヒヤリングさせていただきます。

研修・求人施設のご紹介

ヒヤリングした内容を基に、先生のご希望に合う研修施設または、求人施設をご紹介します。

ご応募・条件交渉

ご紹介した求人施設でご希望の施設とご面談をいたします。ご自身でご条件の交渉が難しい場合はコーディネーターが代わりに条件の交渉を行います。

面談・就業開始

面談を行い施設と合意があれば就業成立となります。就業開始後も、ご相談も承っております。

お仕事をお探しの先生

[新規登録はこちら](#)

復職された先生方の事例

4 本事業からの今後の支援策

今年度は、「女性医療職等の働き方支援事業」における計画をもとに、女性医師への支援を実施してきたところであるが、今後の支援策としては、以下のとおり、継続、発展させていく。

広島大学病院では、今後も柔軟に働きやすい環境整備、休業中の女性医師の復職支援を行い、医師全体の働き方の改革の一助になることを目指す。これまで実施した医師へのアンケートから、保育の問題、子供の急病の際の対応が男性医師、女性医師ともに喫緊の課題と考えられたので重点的に支援策を推進する。

職場の理解にかかる取り組み

(1) 地域の医療機関、関係団体等との連携体制を維持

現在の体制を維持しつつ、広島県ならびに広島県医師会との連携を強化する。

各団体と連携し、医学生へのサポートの拡充を図る。

各種事業を連携して実施するほか、新たな助成事業等の情報を得る。

(2) センター運営会議の定期開催

定期的な開催を継続し、女性医師が必要とする支援について検討する。

(3) 広島県女性医師支援総合会議の開催

年に1回の開催を継続し、医局等に所属する女性医師が、派遣人事の枠外にて関連病院等での勤務が可能となるマッチングを目指す。

相談窓口

「広島三本の矢」女性医師支援チームによる相談事業の拡充

勤務体制、診療体制にかかる取り組み

複数（チーム）主治医制を推進する。

保育にかかる取り組み

関連病院の院内保育園の情報共有、小学生の長期休暇中の学童保育や病児保育の利用料補助等の大学病院内において実施する各種保育事業の周知を図る。

広島県医師会が開始した保育サポーター事業の推進と普及に取り組む。

妊娠中の女性医師のためのマタニティ白衣やマタニティスクラブの貸し出しについて周知を図る。

支援に関する広報

広島大学病院女性医師支援センターの支援や取組みをより多くの人に広報するため、新規でホームページを作成する。
新規ホームページの特徴

- (1) 活動内容をより詳細に閲覧することが可能
- (2) 直接相談することが可能
- (3) 掲示板で意見交換が可能
- (4) 育児に関する物品等の譲渡に関する情報交換が可能

5 外部評価

「令和3年度 女性医療職等の働き方支援事業」の実施について外部から評価いただくため、事業報告書を送付し、書面での外部評価を受審。

外部評価委員

加世田 ゆみ子（広島市立リハビリテーション病院 病院長）

個別評価項目

(1) 職場の理解にかかる取り組みについて

支援を必要とする女性医師のみならず、周囲の男性医師、女性医師の上司からの相談を受け付けることが非常に重要であり、この取り組みを継続することにより周囲の理解が深まると考えられる。医学生研修医等をサポートするための会への男性の参加が増えることを期待する。

(2) 相談窓口等に係る取り組みについて

「広島三本の矢：女性医師支援チーム」による相談窓口、さらに広島県医師会の女性医師など相談窓口があり、これらの活動を継続することによりマッチングがさらに進むと考えられる。

(3) 勤務体制、診療体制にかかる取り組みについて

現場で様々な取り組みを実行するためには、周囲の理解が不可欠である。現場では周囲の医師の負担が増えることが多いため、医師の働き方改革を見据えて全体の業務の効率化を推進して頂きたい。

(4) 保育にかかる取り組みについて

院内保育や保育サポーターバンクなど、今後も継続して頂きたい。

(5) 復職支援に係る取り組みについて

日本医師会女性医師バンクへの相談、再研修支援施設としての登録など、今後も継続して頂きたい。

全体評価及び講評

子育て中の女性医師の復職支援は、医師不足、医師の偏在を軽減するために必要であり、センターでは具体的に細やかな支援がなされている。

医師の働き方改革を見据え、医師全体の負担軽減につながるよう、周囲の理解を得ながら女性医師の支援を継続して頂きたい。

令和3年度
女性医療職等の働き方支援事業実施報告書
令和4年3月 発行

編集・発行



広島大学病院
女性医師支援センター

〒734-8551 広島市南区霞1-2-3
TEL 082-257-1505 FAX 082-257-5962
URL: <https://www.hiroshima-u.ac.jp/iryo/isisien>



(無断複写・転載を禁じます)

Medical Professions'
Universal Support and
Career Development with
Active Teamwork



広島大学病院